

草津白根山（白根山（湯釜付近））の火山活動解説資料

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

< 火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を発表 >

本日（28 日）17 時頃から湯釜付近を震源とする火山性地震が増加しています。白根山（湯釜付近）では、火山活動が再び高まっていると考えられ、今後、湯釜火口から概ね 1 km の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。このため、28 日 19 時 30 分に火口周辺警報（火口周辺規制）を発表し、噴火警戒レベルを 2 に引き上げました。

【防災上の警戒事項等】

湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく、小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。

活動概況

28 日 17 時頃から湯釜付近を震源とする火山性地震が増加しています。（図 1～2）

傾斜計¹⁾では、16 時頃からわずかな変化が観測されています。（図 3）

監視カメラによる観測では、湯釜火口内に変化は認められません。（図 4）

- 1) 噴火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。1 マイクロラジアンは 1 km 先が 1 mm 上下するような変化量です。

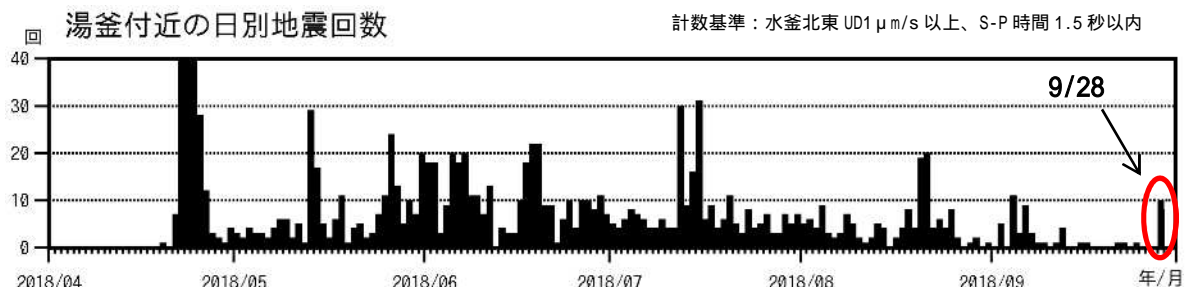


図1 草津白根山（白根山（湯釜付近））火山性地震の日別回数（2018 年 4 月 1 日～9 月 28 日 20 時）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧できます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、関東地方整備局、東京大学地震研究所、東京工業大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ(標高)』『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』を使用しています(承認番号 平 29 情使、第 798 号)。

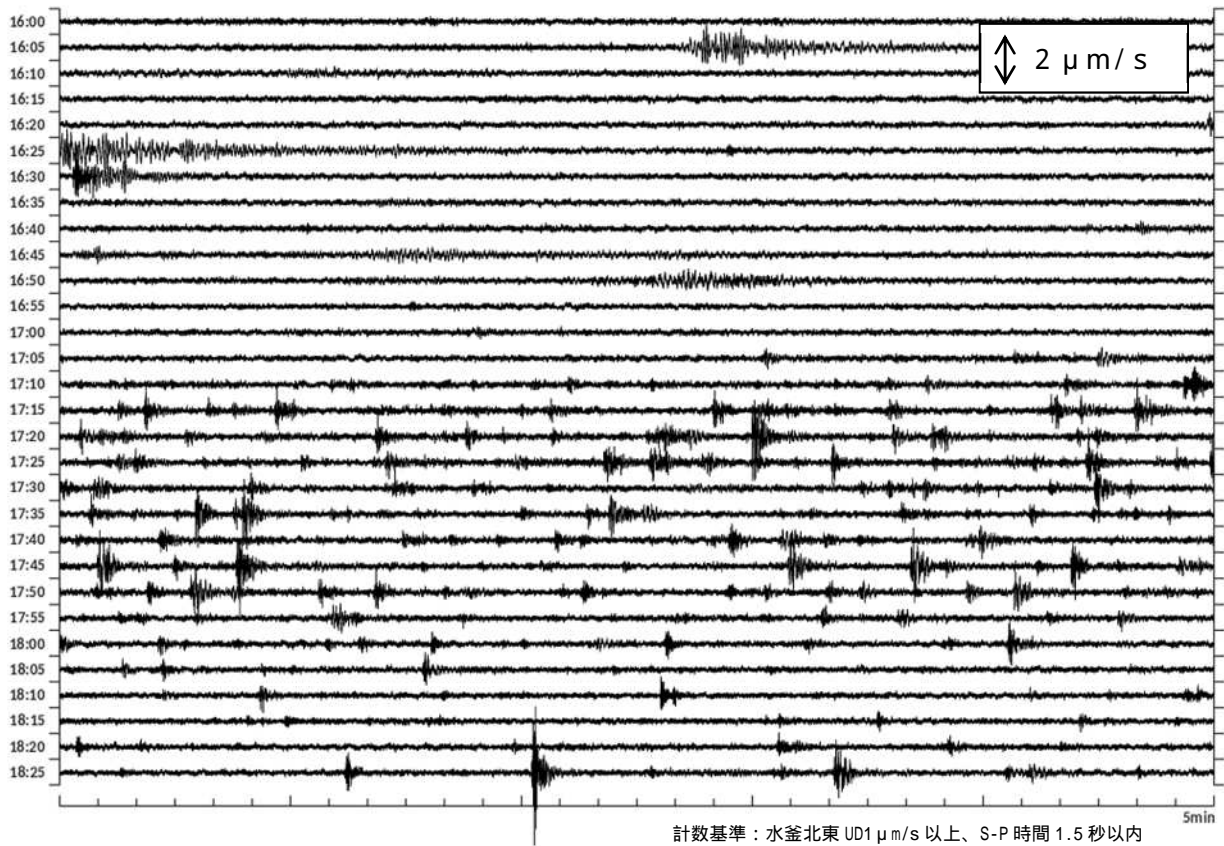


図2 草津白根山(白根山(湯釜付近)) 火山性地震の発生状況
(水釜北東観測点上下成分 2018年9月28日16時00分~18時30分)
・17時頃から火山性地震が増加しています。

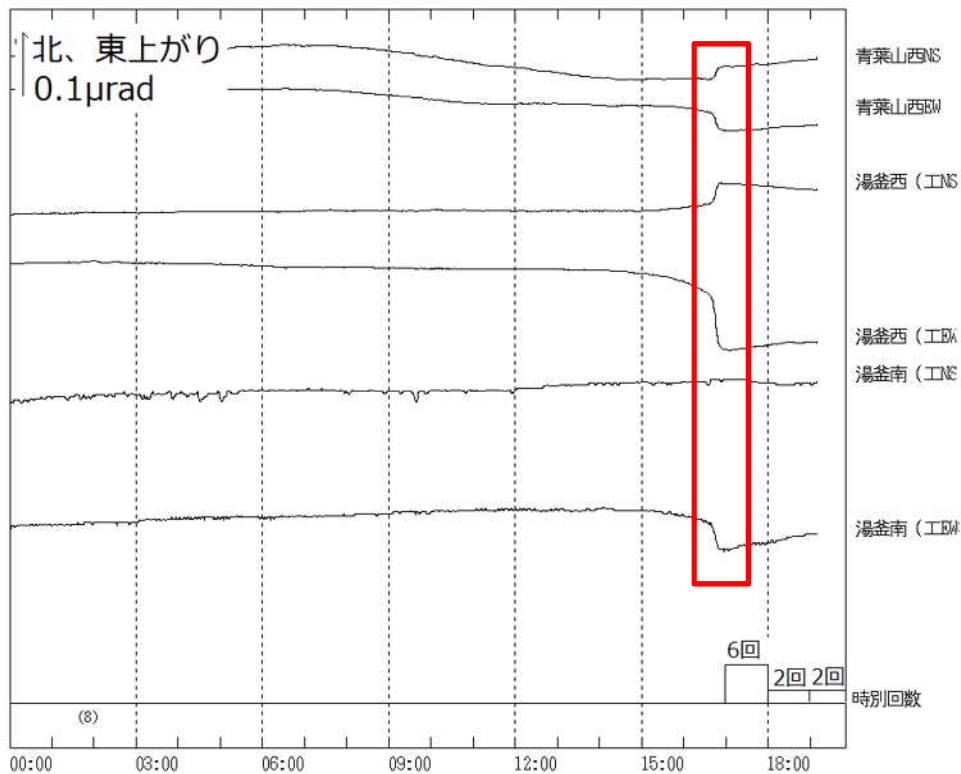


図3 草津白根山(白根山(湯釜付近)) 傾斜計の状況(2018年9月28日00時~20時)
(工:東京工業大学)
・16時頃からわずかな傾斜変化が観測されています(図中赤枠)。



図4 草津白根山(白根山(湯釜付近)) 湯釜火口内の様子(2018年9月28日17時46分)

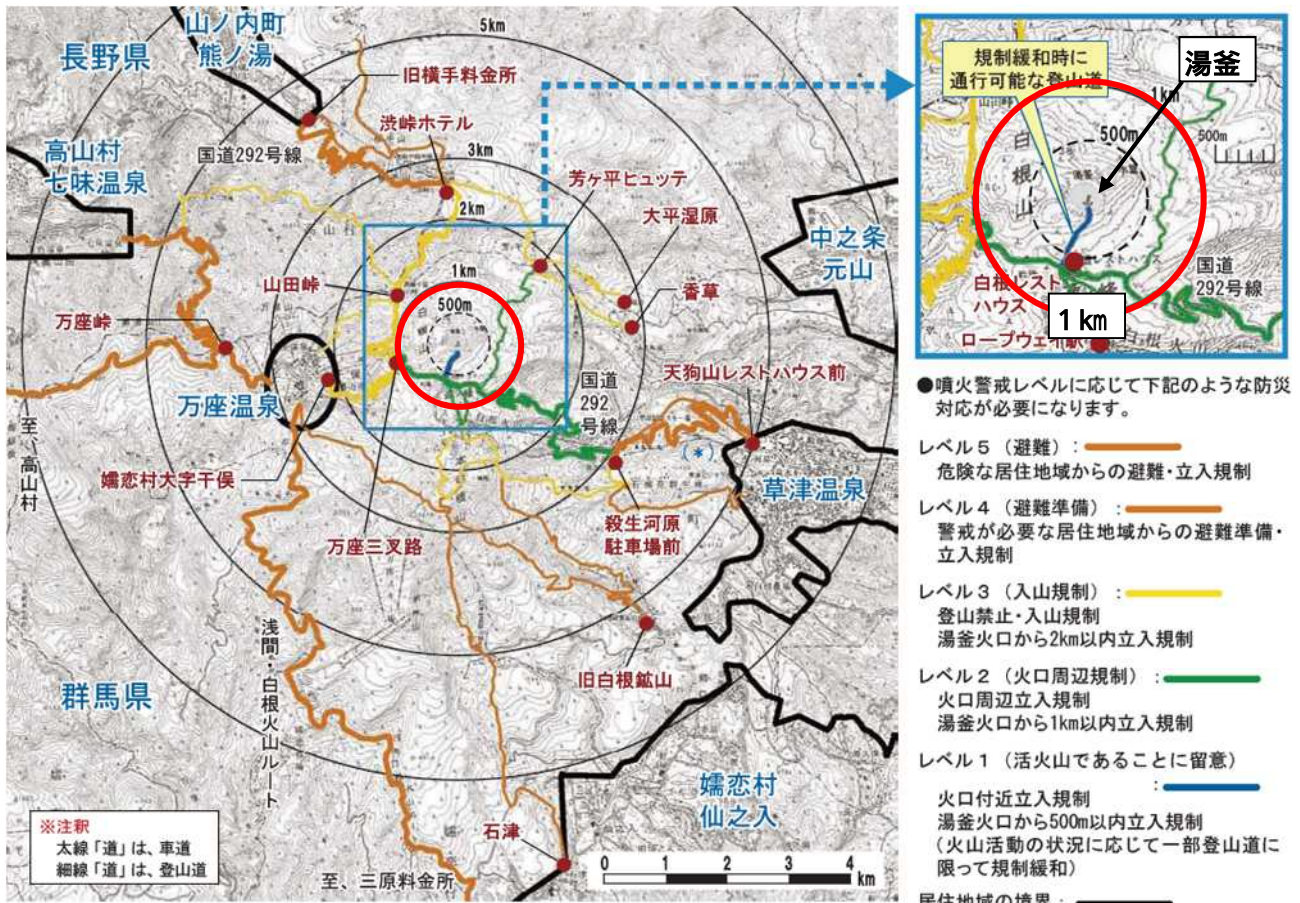
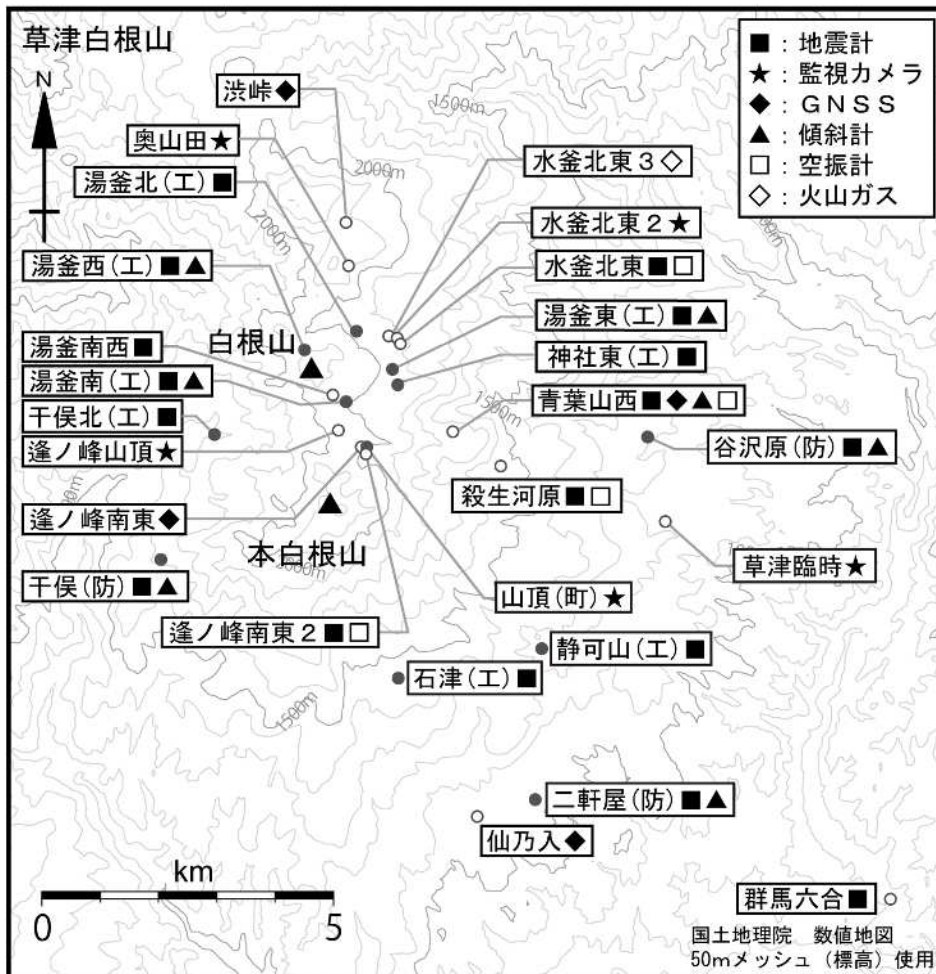


図5 草津白根山(白根山(湯釜付近)) 警戒が必要な湯釜火口から概ね1kmの範囲(图中赤丸)



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国):国土地理院、(防):防災科学技術研究所、(工):東京工業大学、(関地):関東地方整備局、(町)草津町

図6 草津白根山 観測点配置図